

# 小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	13	施策名	スポーツの推進	
小施策コード	13-1	小施策名	ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進	
小施策 主管課等コード	049000	小施策 主管課等名	スポーツ推進課	
評価責任者名	山本 英朝		内線番号	8430
評価シート作成者名	曾根田 雅彦		内線番号	8431

## Step 1 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人ひとりが、生涯にわたりスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすためには、スポーツや健康づくりに関する推進体制の充実やスポーツ指導者の発掘・養成、さらには、魅力ある企画や情報提供など、多面的な環境づくりを進める必要がある。 また、平成 28 年希望郷いわて国体・希望郷いわて大会は、市民のスポーツに対する関心を高める好機であり、大会終了後においても、市民が継続してスポーツに親しむ環境づくりを進める必要がある。</li> <li>競技スポーツは、ジュニア期からの一貫した指導による選手の育成・強化が大切であり、指導者の確保や各種大会への参加支援のほか、競技スポーツに対する市民の関心を高め理解を深める必要がある。</li> <li>学校体育やスポーツ少年団活動の充実などによる子どもたちの健全育成に努める必要がある。</li> </ul>
取組の方向性	すべての市民がスポーツに参画する機会が確保できるようにソフト面での充実を図り、各世代のニーズに応じてスポーツに親しみ、楽しめるスポーツ活動などを推進する。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	市民、生涯スポーツに関わる団体・指導者
意図 (対象をどのようにしたいのか)	参加する機会が提供され、多くの市民が参加できる。

## Step 2 成果指標の推移

(↑ : 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓ : 数値を下げていることを目標とする指標, → : 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目		単位	25 年度 実績 (現状値)	27 年度 実績	31 年度 目標値	36 年度 目標値
A 市の事業数	(↑)	件	696	803	700	770
B 事業参加者数	(↑)	人	189,813	153,907	200,000	210,000

C	( )				
---	-----	--	--	--	--

### Step 3 市民ニーズの把握

まちづくり評価アンケートによると週1回以上のスポーツ実施率が30%を下回っていることから多様化した市民ニーズに応じて市民がスポーツに親しみ、楽しめるスポーツ活動の推進が求められている。

### Step 4 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	スポーツや事業に関する情報の提供	30
	国・県・ 他自治体	スポーツや事業に関する情報の提供	10
	市民・ NPO	事業への参加と新たなスポーツへの取組	50
	企業・ その他	スポーツに関する情報の提供	10

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

市民が各自の自発性のもと、各々の興味・関心等に応じて日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができる環境の整備を図る必要があるが、（公財）盛岡市体育協会をはじめとするスポーツ団体等が役割分担を明確にし、連携を強化することにより市民のスポーツ活動を推進していくことが必要であることから市の役割の比重を縮小することを検討する。

## Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

市が実施する事業数が増加した。

#### (2) 成果をあげた要因

指定管理者や各競技団体が積極的に自主事業に取り組んだ。

#### (3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

1事業あたりの参加者数増に向けた取組が必要である。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

全体の事業参加者数が減少している。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

- ・ 実施事業数が増加したが、1事業あたりの参加者数が減少している事業がある。
- ・ 複数の団体が実施する事業開催日が重複する状況が発生している。

#### (3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

- ・ 事業開催日の設定にあたり大規模イベントとの重複を避けるようにする。
- ・ 事業周知のための広報や啓発方法の見直しを行う必要がある。

### 3 改革改善案（上記1(3)及び2(3)で設定した課題に対する具体の取組）

大規模イベントとの重複を避けた事業開催日の設定及び効果的な事業周知に向けて、（公財）盛岡市体育協会や加盟団体との連携の仕方を検討する。

## Step 6 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

「県民体育大会・国民体育大会選手派遣事業補助金」

### 2 1で記載した事業についてその理由

「県民体育大会・国民体育大会選手派遣事業補助金」事業は、盛岡市代表選手への激励や負担軽減が目的であり、日ごろからスポーツ活動に取り組んでいる市民を対象としていることから、市民のスポーツ活動機会の拡大につながっているものではない。

### 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

県民体育大会選手派遣補助は、平成27年度で廃止したが、国民体育大会選手派遣補助は単価を増額し継続していることから、国民体育大会選手派遣補助の在り方について検討する必要がある。